

# 海の学校での学び ～松名瀬海岸を多面的にみる～

壁新聞をつくる目的  
自分たちが海の学校で学んだ多面的にみる  
ことの良さを多くの人に知ってもらい、  
海に対する考えを深めてもらう。

## 海の学校とは?

## 海の学校で行われた松名瀬干潟

2020年10月27日に中学1年生を対象に松名瀬海岸で  
多面的にみるというテーマで海の学校が行われました。

松名瀬干潟は、潟湖干潟・河口干潟・前浜干潟の  
3つの干潟があり、埋め立てによって失われやすい。  
それらが残っている干潟はとても貴重です。  
潟湖干潟は海から分けられた湿地で、巻貝やカニが  
たくさんいて汽水(海水と淡水が混じったもの)の水域です。  
河口干潟は砂・泥が河口にたまってできた干潟で汽水の水域です。  
前浜干潟は海に面していて、潮干狩りが行われており、二枚貝  
がたくさんいます。

- 第一講座 「塩性湿地の生物たち」
- 第二講座 「きれいで豊かな伊勢湾を取り戻そう」
- 第三講座 「海を楽しむ・前浜干潟の生物とその役割」
- 第四講座 「いくつになってもきたいところ」

下でくわしく説明します。

### ① 生物多様性

講師: 三重大学 木村妙子 教授  
木村昭一 研究員

講座の内容: 塩性湿地(潟湖干潟)でできるだけ  
多くの生物をとり、それらを種類分け  
して、それらへの興味を深めて生物  
多様性に気付きました。

とれた生物(例): ホソウミナ、ウミナ、ムナギ、フナ、アサギ、カマアイ、アサハラガニ、オキミジミ など...

### ③ 海とふれ合おう

講師: らっこclub 佐藤達也 代表

講座の内容: 実際に前浜干潟に入り、網や碎波帯ネット  
で生物をとりました。とれた生物には巻貝やカニ、  
エビなど様々な種類の生物がいました。

佐藤代表から教えられた大切なこと

とにかく海とふれ合ってください!!

### ② 立場によって違う海

講師: 三重県大気水環境課 国分秀樹 係長 北川周太郎 嘱託員  
松阪漁業協同組合 友岡将司 参事

講座の内容: 国分係長と友岡参事にそれぞれの立場に  
とっていい海について話を聞きました。  
現在は、浄化設備が整備されています。  
環境面から見るときれいな海が良く、  
漁業面から見ると豊かな海が良く、  
それを両立するための協議を行っている  
そうです。

### ④ 松名瀬海岸の歴史

講師: 西黒部公民館 小川祐治 館長

講座の内容: まず、松名瀬海岸の歴史について教え  
ていただきました。海の環境が変化  
してしまった原因として、ごみのポイ捨てや  
夜間の密漁などがあるそうです。今は  
海の環境を守るための対策として、  
漁業で使える道具の形を決めたり、  
ポイ捨て対策の看板を立てたりしています。

## 〈まとめ〉

松名瀬海岸で行われた、海の学校で私たちは各講座で、  
貝やカニを採集しました。また、「きれいな海」について、浄化設備で  
きれいにされた海が漁業をする人にとっていい海ではないということ  
を聞いたりして、海のことを五感で感じ、海を多面的にみる  
ことができました。そこから、一つの視点からだけではなく  
様々な視点から海の環境のことをきれいで豊かな海を守って  
いくことが大切であると学びました。私たちがしていること  
はゴミの処理をきちんとすることや、松名瀬干潟の大切さを  
少しでも多くの人に知ってもらい、海への理解を深めて  
もらうことだと思います。皆さんも一度、みんなと  
いい海とは何か、海の世界はどうすれば守れるか、  
そして、たくさんの視点から、物事を見るということ  
について考えてみてください!



子どもエコクラブ壁新聞 (2020年度) (横造紙サイズ用)

クラブ(団体・グループ)所在地: 三重県松阪市

クラブ(団体・グループ)名: 三重中学校・高等学校

科学技術部

(2020年度 応募作品) □幼児クラブの審査を希望